

2026 年度 講座・出前授業報告書 No13

開催日時	2026 年 8 月 19 日(水)・20(木) 開催時間 各日①10:00～10:50 ②11:00～11:50						
開催場所	鹿島台子どもセンター						
実施内容	浮沈子をつくろう						
	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	計
19 日	① 0 ② 2	① 0 ② 26	① 25 ② 0	① 1 ② 0	0	② 1	① 26 ② 29
20 日	① 19 ② 19	① 0 ② 7	① 5 ② 0	0	0	0	① 24 ② 26
スタッフ	各日 5 名	実施機関スタッフ 19 日:4 名 20 日:5 名				見学者	20 日:1 名

1 概要

子どもセンターからの依頼を受けて、夏休み中の取り組みとして行った。参加希望人数が非常に多かったため、2 日間各 2 講座に分けて実施した。またセンターの配慮で、1 日目に 3～4 年生を優先して行い、2 日目は経験した子どもが指導者側として参加できるようにした。

2 実施内容

・最初にプラ板(PS)とエアークリップを用いた浮沈子を作成した。プラ板は水に浮く？沈む？と尋ねたところ、多くの子が「浮く」と予想した。そこで「このままでは水に沈む」ことを演示した後「でも、浮き袋とおもりをうまくつけると浮沈子になるよ」と見本を見せてから、作業開始。プラ板に思い思いの絵を描き、クリップとビニール帯を調整して浮沈子を作成した。微調整はクリップの種類を変えたりビニール帯をカットしたりして、スタッフが手伝った。

・次に魚型のしょうゆのたれ容器とナットを用いた浮沈子を作成して魚つりを行った。ナットの取り付けと釣り針の曲げる角度調整はスタッフが行ったが、うまくカラフルなリングが釣り上がると歓声があがっていた。

・時間の都合で、当初予定していた「アルミニウム箔を利用した浮沈子」は紹介するだけに止めた。メカニズムについては、ペットボトルを押したときに空気の袋が小さくなって沈むが、詳しくは中学校で勉強すると伝えた。

3 良かった点、

・最初の講座に参加した子がその後の講座のお手伝いに積極的に参加してくれ、特に 2 日目はこちらの手が不要な程で、講座をスムーズに進めることができた。センターの方からは「普段の様子からは考えられないような子が前向きに活動していて驚きました」と嬉しいコメントを頂いた。子どもたちからの感想は「面白かった」「色々やって成功したのが楽しかった」等。

・おもりとして使うクリップを重さ別に種類分けして準備してあったので、微調整がしやすかった。また、アルミニウム箔をたたき過ぎて重くなった場合に風船をつける、最近流行のプクプクシールを利用する等、工夫の広がりも紹介できた。

4 課題点など

・エアークリップが潰れやすかったりプラ板を割ってしまったりしたので、形状を工夫する。

・使用するマーカーは油性がよいが、耐水性水生マーカーが混在しているため注意が必要。

